

宮城県大河原町

議会だより

第136号 平成27年8月1日

七夕の願いごと
(大河原カトリック幼稚園)

金ヶ瀬中体育館工事着工	②③
議案審議(5月・6月議会)	④⑤
町政への提言	⑥
議決責任の明確化	⑬
常任委員会所管事務調査	⑱
その後どうなったあの提言	⑲

待望の金ヶ瀬中 体育館工事着工



完成予想図

**平成28年3月
完成予定**

●現在の金ヶ瀬中体育館は昭和41年建設で老朽化が進み、住民からは建替えを望む声が多数寄せられていた。

●卒業式までに完成予定。卒業生は新しい体育館で卒業式を迎える。

新たな防災拠点と 更なる体育振興

昭和41年に建設された現金ヶ瀬中学校体育館は激しく老朽化が進んでいたために、震災時は避難所として使われることはなく、手狭な金ヶ瀬公民館に住民は身を寄せることとなり不便との声が寄せられた。今年度3月に完成予定の体育館には約130㎡の防災備蓄倉庫も隣接して建設されることから新たな金ヶ瀬住民の防災拠点が確保されることとなる。また一階体育館床面積は従来のものより1.7倍の広さを有するものとなることから、より一層住民らが活用できることとなる。またわが町の今後の体育振興においても現在の733㎡から1227㎡となり、たて横方向に6m以上広くなることにより平成26年度は126団体、1656名の利用にとどまり、大河原中学校体育館の学校開放事業による利用者数の五分の一に留まっていたが、こ

れまで利用のあったバレー、ミニバス等の種目以外にも更にフットサル等の新たな団体、年齢層の利用と併せて同時時間帯に複数種目の利用が可能となることから、28年度以降は一階フロア部分だけをみても飛躍的に利用者が増加することは予想できる。そしてこの体育館には二階部分に約400㎡の柔剣道場も整備され、金ヶ瀬中学校の生徒は元より、地域の武道の振興もさらに図られることとなる。

今回の体育館建設は議会としても学校の規模に合わせたものではなく、防災など様々な観点から地域の住民ニーズを汲み取った体育館にするよう強く提言を行ってきた。執行部はこの提言を真摯に受け止め体育館建設に反映させたことを住民とともに評価する。来年3月の卒業式の挙行の際にお披露目となる日が待ち遠しい。

安全保障関連法案 意見書案否決

安全保障関連法案の 徹底審議を求める意見書案

提出者 柘 和也

平成27年5月15日に政府が国会に提出した、「国際平和支援法」並びに「国際安全法整備法」の二法案について、国民の多くが「日本が戦争に巻き込まれる」のではないかと不安を抱いている。国民の多くが心配する法案の成立を急ぐことなく、国会において慎重かつ徹底した審議が行われるよう要望する。

〔反対討論〕

高橋 芳男

本法案は衆議院通過後に参議院でも審議をされるので時間をかけて審議される。集団的自衛権の行使といっても、あくまで国民の命を守るためのやむを得ずの自衛措置であり、専守防衛を変えるものではない。自衛隊の海外派遣には国連決議と国会の事前承認が必

要であり、いつでも海外に派遣できるとの表現は間違っている。万が一に備え対応できるための安全保障関連法案と申し上げ反対討論とする。

〔賛成討論〕

万波 孝子

日本国憲法は過去の悲惨な侵略戦争と軍国主義を反省して制定された。攻撃されなくても他国の武力行使に参加し自衛隊をいつでも海外に派遣し武力行使できる安保法案は、明らかに第9条（戦争放棄）に反する。どの世論調査の結果も、「今国会にこだわらず時間をかけて審議すべき」「反対」が6割超に。衆院憲法審査会で与野党で決めた憲法学者3氏が違憲と表明。徹底審議は当然である。

表決の結果、賛成6、

反対8で否決

補正予算原案は9対6で可決

水中運動教室は10月より実施

一部修正案否決 6対8

修正動議提案理由
提出者 大沼 忠弘

水中運動教室委託料は事業の計画性が認められず、尚且つ民間施設を使用する事で民間事業者の営利活動に町が補助を出すような形とも町民からは受けとめられる。水中運動が及ぼす身体への好影響は誰もが理解するところではあるが、推進するのであるならば隣町にある県営のプールを活用する考えを優先させるべき。3月に予算委員会を行った直後の6月議会で補正を行う緊急性も認められず、計画性もなく、思い付きで行政運営にあたっているかのような疑念をぬぐえない。以上の理由から水中運動教室の補正は削除すべきである。

〔原案賛成討論〕

万波 孝子

国民全員に12桁の個人番号を付けて、社会保障や税の個人情報等を国が一元的に管理するマイナンバー制度が来月1月から開始するが、125万の年金情報、125万の年金情報、125万の年金情報が大量流出したことは、マイナンバー実施の危険性を明らかにした。一旦流出すれば取り返しのつかない事故が想定される。番号は年

〔原案賛成討論〕

堀江 一男

水中運動教室委託料はNPOに委託し、民間のス

金、児童手当、税金申告等に加え預貯金口座等も対象に。町民の個人情報を守るためにも情報流出の危険に満ちたマイナンバー交付金は認められない。中止しない。
●修正案は否決、補正予算は原案の通り可決。

大河原町議会 会議規則の一部改正

議会運営委員会委員長より提出。今まで議員の議会における欠席の届け出の取り扱いに関しては出産を理由とする規定はなかったが、今回の改正により新たに欠席の理由の一つとして出産を認めたもの。

提案理由は、昨今の少子化および社会的に女性の出産に際して配慮が図られてきている現状から、大河原町議会としても議会における欠席の届け出の取り扱いに際して社会情勢などを勘案し、出産の場合の欠席の届け出について新たに規定するもの。

全会一致で可決。

一般会計 主な補正予算

収入	
個人番号カード交付事業費補助金	820万円
臨時福祉給付金事務費補助金	2862万円
低所得者保険料軽減負担金	50万円
繰越金	288万円
支出	
コミュニティ補助金	230万円
個人番号カード交付事業費交付金	820万円
臨時福祉給付金システム改修委託料	158万円
臨時福祉給付金	2460万円
水中運動教室委託料	36万円
給食センター	
蒸気式回転金貸借料	31万円

5月会議

議長辞職について

秋山昇議長より議長の辞職願いが副議長に提出された。これにより議長辞職を認めるかどうかについて、無記名投票による採決が行われた。

結果

賛成(辞職を認める)・・・5
反対(辞職を認めない)・・・7
(白票1を含む)
※白票は反対に含まれる。

退席1名

この結果、議長辞職は許可しないこととなり、秋山昇議長が残り2年間議長を継続することとなった。

委員の選任について

常任委員の選任
議会運営委員の選任
議会広報編集特別委員の選任が行われ、下記のように決定した。今後2年間この委員会構成となる。

※参考

〔地方自治法〕

第93条
議会議員の任期は4年とする。

第103条

①普通地方公共団体の議会は、議員の中から議長及び副議長一人を選挙しなければならない。
②議長及び副議長の任期は、議員の任期による。

第108条

普通地方公共団体の議会の議長及び副議長は、議会の許可を得て辞職することができる。

その他5月会議議案

同意1件
報告3件

委員会メンバー一新

総務文教 常任委員会

町の事務で総務・税務・福祉・保育所、学校等の教育部門、選挙管理委員会、監査委員に該当する問題、課題に対して意見、解決方法を提言する。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 岡崎 隆 |
| 副委員長 | 万波 孝子 |
| 委員 | 佐久間克明 |
| 委員 | 大沼 忠弘 |
| 委員 | 庄司 充 |
| 委員 | 佐藤 剛 |
| 委員 | 山崎 剛 |

産業建設 常任委員会

町の事務で道路・側溝・水道・下水道等の土木事業に関する工事、事務に該当する問題に対して意見、解決方法を提言する。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 高橋 芳男 |
| 副委員長 | 須藤 慎 |
| 委員 | 丸山 勝利 |
| 委員 | 堀江 一男 |
| 委員 | 枡 和也 |
| 委員 | 佐藤 貴久 |
| 委員 | 安藤 征夫 |

議会運営委員会

議会の円滑な運営を図るための協議を行う。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 枡 和也 |
| 副委員長 | 佐藤 剛 |
| 委員 | 大沼 忠弘 |
| 委員 | 高橋 芳男 |
| 委員 | 岡崎 隆 |
| 委員 | 万波 孝子 |

議会広報編集 特別委員会

議会広報を作成、発行。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 岡崎 隆 |
| 副委員長 | 須藤 慎 |
| 委員 | 佐久間克明 |
| 委員 | 丸山 勝利 |
| 委員 | 枡 和也 |
| 委員 | 万波 孝子 |

町政への提言Q&A

一般質問

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどをたずねるもの。今回10人の議員が行った。

万波 孝子 P⑦

- 紙おむつ支給は多くの方が対象になるよう拡充を
- 要介護認定者が対象です。「障害者控除認定書」

岡崎 隆 P⑧

- 職員採用のあり方を見直すべき
- 消防団設備の前倒し整備を急げ
- 大中グランドの更なる整備を

庄司 充 P⑨

- 蔵王山噴火に備える我が町の対応は

高橋 芳男 P⑩

- データヘルスの推進を
- 災害時避難所に「段ボール簡易ベッド」の活用
- 空き家対策条例の制定

堀江 一男 P⑪

- 荒川と巻橋等の安全確保を

枡 和也 P⑫

- 防災・減災の観点から樹木群の伐採を求む

大沼 忠弘 P⑬

- クレジットカードの活用を
- 桜まつりの総括はどうだった
- メガソーラー誘致の進捗は

須藤 慎 P⑭

- 空手道部の新設を

丸山 勝利 P⑮

- 電気自動車デマンドタクシーが利用者にとって不便である

佐久間克明 P⑯

- 農業機械購入時に町から補助金を
- 多様な職員採用を



まん なみ たか こ
万波 孝子

一般質問

問 紙おむつ支給は多くの方が対象になるよう拡充を

答 実態調査も含めて総合的に検討する

当町では、在宅で常時失禁状態にある高齢者等の世話をする町内に住所を有する家族に対して、一ヶ月



▲該当者に支給されている一月5千円の紙おむつ券

5000円の紙おむつ支給券を支給している。具体的には要介護3～5でポータブルトイレへの移動が困難なことにより、排泄はおむつに頼らざるを得ない方や寝たきりの方を介護する家族として、25年度の登録者実人数は14人で支給額は47万2500円。25年度からは所得制限を撤廃したにもかかわらず該当者が少ない。多くの方が紙おむつ支給が

受けられるように支給要件を見直し経済的負担軽減の考えを問う。

問 角田市では要介護3～5で市民税非課税世帯月4500円、他は月2000円。25年度は376人で支給額は920万円。376人に紙おむつ処分のためのゴミ袋購入券(年間30枚)を支給。0歳を養育する保護者へ紙おむつ用ごみ袋(年間50枚)を支給し子育て家庭の支援をしている。当町では、ポータブルを使

要介護認定者が対象です「障害者控除認定書」

問 身体障害者や精神障害者の手帳の保持者は確定申告時には「障害者控除」(特別40万円、普通27万)が受けられる。要介護認定者(一から五)も町が発行する「障害者控除認定書」があれば控除が受けられる。これが意外に知られていない。知らないという。所得税

町長 各自治体で相違がある。引き続き広報に努め、実態調査も含めて総合的に検討する。ごみ袋購入券は検討したが実施には至っていない。

町長 広報や介護保険事業所連絡会等で周知しているが、一層周知していく。



しょう じ 庄司
みちる 充

問 蔵王山噴火に備える 我が町の対応は

答 様々な視点から検討する

問 今日この質問を行う時朝刊で「蔵王警報解除」という明るいニュースが入ってきた。この時こそ大切な事と認識しのぞみたいと思う。平成23年の東日本大震災から四年が過ぎ復興復旧の元甦えようとしているが、この巨大な揺れが原因で地底では思いも寄らぬ火山活動を引き起こしている。四月十三日蔵王は水蒸気噴火が想定される火口域（お釜）から噴石火山灰の落下の危険性があると警戒を発令された。我が町では我が町なりの対策を講じているものと思うが現在までの防災をくわしく教えてほしい。また、三月発行の「大

河原町防災マップ」の別紙に「蔵王山火山活動情報について」と題し全戸に配布した事は見事な処置だと評価するが、あれを元に現実的に人を動かし完全実施する為には町民にどのような指導周知をするのか。現実には蔵王山噴火に直面した時対策本部である町はどのような動きをするのか。

町長 火山噴火という初めての事から「防災メール」登録者に警戒情報を発信した。火山警戒情報が継続する中で町内各学校による児童生徒へのマスクの準備、携帯の連絡・災害対策費でのマスクの購入等に務めて

一般質問



▲いざという時の為、今から備えを

いる。又避難等の具体的な町民の対応については、総合防災訓練での火山被害対策をはじめ、災害対策本部の強化・充実を図り的確な情報発信に努めると共に避難所・避難道路の確保、農作物の被害対策・飲料水の確保など安全安心につながる

様々な視点から検討する。その他庄司議員から良い評価をいただいた防災マップに織り込んだ「蔵王山火山情報チラシ」をはじめ町ホームページでの県及び周辺市町の火山対策情報等を公表してゆく。

問 職員採用のあり方を見直すべき

答 幅広い人材確保ができるよう基準の見直しを検討する



▲適切な人材確保を

問 採用予定者の数倍の人数が一次合格者となり、面接できるようにすべき。

町長 一次合格者の人数は改善を目指し、関係者と慎重な検討をする。

問 郷土愛を育むためにも町独自の試験問題を作成すべき。

町長 採用職種によ

行政を取り巻く環境は今後も厳しさを増していく。職員のやる気と想像力を養うことも大切であるが、何より強いハートが不可欠で

ある。点数至上主義の我が町の現状は怠慢であり、一次試験の合格者を増やし、幅広い人材の確保を目指すべく改善点があるので質問する。



おか ざき 岡崎
たかし 隆

一般質問

り対応可能。タイミングをみて対応していく。

問 職員の年齢構成が歪である。幅広い年代とスペシャリストの採用枠を数年に一度でも設けてはどうか。

町長 社会人枠として様々な検討もするが、スペシャリストを育てる環境も庁舎内で作っていききたい。

消防団設備の前倒し整備を急げ

消防団に配備された小型動力ポンプ積載車量は耐用年数が過ぎたものも多く町民の生命と財産を守るために早急な更新が必要なものがあるので質問する。

問 20年以上使われている車両、ポンプが各3台、平

町長 更新計画を作成し適宜更新していく。

大中グランドの更なる整備を

問 大中グランドは水はけが悪く施設の早急な改修が必要。また近隣住民の洗濯物等にグランドの風塵による苦情が寄せられている現状を町としてどう考えているか。

教育長 集水桝に土砂等が入り流れを阻害しているのので点検と清掃を行う。雨水の流れやすい状況なのか確認し、表層・下層の土質も調べ大規模な改修が必要か検討したい。



たか はし よし お
高橋 芳男

一般質問

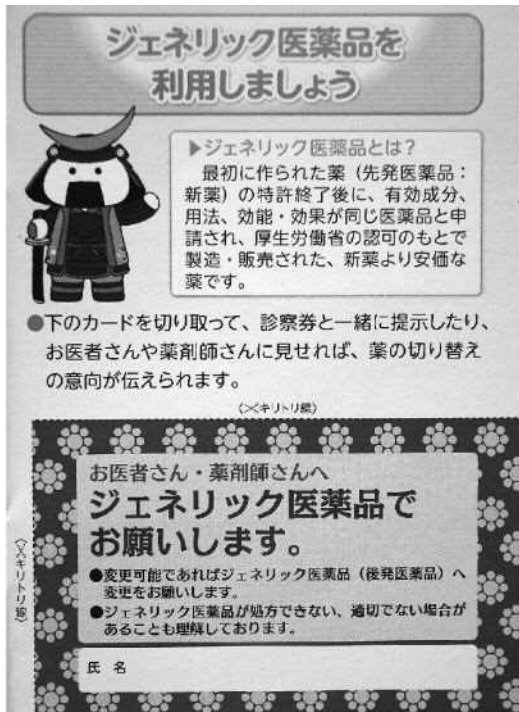
問 効率的な保健事業で医療費適正化に効果を上げる観点から、レセプト・健康情報等を活用したデータヘルスの推進。医療機関での過度の受診を抑制する。本町においても今後の保険事業の課題の対策としてレセプト、健康情報等を活用し

データヘルスの積極的推進を。

町長 現在データヘルス計画を策定中。「国保データベースシステム」宮城県国民健康保険連合会及び国民健康保険中央会で本稼働に向け調整している。ジェネリックのお知らせを昨年10

問 データヘルスの推進を

答 計画を策定中



▲ジェネリック活用で医療費抑制を

災害時避難所に「段ボール簡易ベッド」の活用

問 避難所での環境改善のうち睡眠の改善は特に重要である。震災における精神的ストレスは、心血管事故を引き起こすため「快適な温度と適度な高さを有した寝床」が必要。医師の強い推進の声もある。国の災害対策の指針はどこにも盛り込まれている。当町でも是非ベッドの活用を。

町長 平成25年3月25日付山形県山形市ダンボール会社「東北カートン株式会社」と災害時の物資調達協定を締結済み、ご指摘の段ボール製品も救助物資として供給対応となっている。使用については段ボールでの「ベッド」「間仕切り」「シート」など、避難所で使用することが出来る。

空き家対策条例の制定

問 空き家は放置されると老朽化により倒壊などの危険が高まり、災害時には避難や消防の妨げになりかねない。全国で401自治体の問題のある空き家の持ち主への指導や勧告を行うための条例を施行している。当町の空き家対策の条例制定の取り組みについて町長の考えを問う。

町長 法の権限に基づき実施することからいわゆる空き家対策特別措置法の規定内容及び実施に関するガイドライン等の十分な理解を深め、本町にとつて最適な取り組みを考えてまいりたい。条例化の必要はなくなつたが、条例制定も踏まえて検討したい。

問 荒川と巻橋等の安全確保を

答 県、村田町と協議して進めていく

問 荒川と新堀川の合流地点からすぐ下流の荒川右岸が大きくえぐられている事は、以前から町に話をしているので承知の事と思われる。荒川の管理は県なので県議を通じて大河原土木事務所にも話をかけてもらっているが、間もなく梅雨入りを迎え崩壊が心配されるので町の対応とを考えを問う。

町長 大河原土木事務所に対処をお願いしたところ、すぐに決壊する恐れは低いと考えているが、現在業者と協議しており早期の復旧を行うとの回答があつた。町としては、大雨により大きくえぐられる危険があると考えている事から、村田町と一緒に巡回を行っている。

問 昨日より、重機が入り工事が始まったが、どのような工事になるのか。

町長 土嚢袋による土止めの工事になる。

問 巻橋の改修について考えを問う。

町長 巻橋の建て替えについては費用対効果と河川協議等の問題から難しい。今後も村田町と協議を行い橋の維持管理に努めていく。

問 巻橋手前の町道の両側が崩れ、ガードレールも外側に大きく崩れており危険なので改修する考えはないか。

町長 傾いている事は確認



▲大きくえぐられた荒川右岸

しているの、今後は法面が脆弱な事からガードレールの根入を確保した再設置等を検討し、安全確保を図る。

問 空き家対策についてどう取り組む。

町長 具体的な作業を行っていく。

問 昨年6月議会で質問後、町内空き家の状況を区長さんに依頼し調査した結果と対応はどうか。

町長 区長による目視での空き家調査の結果205件を集計した。その後の対応は行っていないが、調査結果の再確認の必要性や条例制定に向けた検討を考えていた。

問 せっかく調査された結果を生かすよう具体的な作業に入るべきではないか。

町長 できるだけ早く作業に入りたい。

一般質問



ほり え かず お
堀江 一男



梶原 ます 和也

一般質問

き起こす要因になっている。以前にもまして樹林化が進んでいる新北白川橋から金ヶ瀬さくら大橋にかけての兩岸は、このままにしておけばゲリラ的豪雨など大雨になった場合、流域の人々の生命と財産を守る堤防が損傷し決壊する恐れがあると思う。

問 白石川の管理は県であるが今すぐにでも防災・減災の観点から樹木群の伐採が必要だと考えるが町はどう思っている。

町長 県は洪水時の河積断面流下能力は確保しており、堤体の安全性に問題ないとしているが、しかしながら、大河原大橋上流の現状を見ると樹木群（支障木）により流下能力が阻害され河積断面を小さくしているのではないかと思われる。また景観は損なわれており良好な河川環境ではないものと考えている。

問 河川管理者である宮城県の方に樹木群（支障木）の伐採についてどのような要望をしてきたのか。

町長 平成25年に環境整備について要望し翌年、葦神堰下流から整備をした。平成27年度は河川調査を行い支障木・堆積土の現況把握をし河川環境の保全等を考慮した整備を行うようである。今後も継続して要望する。

問 大河原公園のそばの親水護岸や、町民農園等の様な区域を河川の生態系も考慮しながら拡大してはどうか。

町長 今年度の河川調査の結果を踏まえて、引き続き河川環境の良好な整備について県に要望をしていく。

問 防災・減災の観点から樹木群の伐採を求む

答 良好な河川環境の整備を継続して県に要望する



▲防災、減災の為に適正な管理を

今年も、雨の心配をする季節になった。町の真ん中を流れる白石川、新北白川橋から大河原橋までの区間は、高水敷はもちろんの事河道に高木が生茂り樹林域の繁茂と拡大が進んでいる。河道内の樹木群は洪水時に河道の流下能力の低下による水位の上昇、堤防と樹木群との間の高速流の発生による堤防の損傷を生じさせる恐れがある等治水上の支障を引

※クレドとはラテン語で「志」「信条」「約束」を意味する言葉。それらを集約して1枚のカードにしたものがクレドカード。

桜まつりの総括はどうだった

問 お花見期間の観光ガイド設置の考えは。

町長 従来の活動を続けて行く中で模索していく。

問 外国人観光客への対応は。

町長 英語通訳やガイドブック、案内板への多言語表記を考えていく。

問 今年の問題点、寄せられた意見は。

問 渋滞緩和策の考えは。

町長 雨対策に対する意見があった。歩行者が増えていたので、安全確保やゴミ捨て防止が必要ではとの意見があった。

町長 中央通り商店街の私有地を有料駐車場として利用の取組みが始まった、好評で効果があった。

メガソーラー誘致の進捗は

問 福田地区町有地にメガソーラーの設置に関するプランを町長が全員協議会で公表した、その後の進捗は。

町長 今年の2月に業者側から各機関へ申請を行っているとの説明を受けている。状況がわかり次第説明をしたい。

一般質問



大沼 おお 忠弘

問 クレドカードの活用を

答 現在その考えはない



▲自治体、企業が導入して効果が出ているクレドカード

上、意識改革をすすめるべきである。

町長 首からクレドカードをぶら下げさせる事はロボット公務員をつくりだすことだ。

問 新・町民憲章あるいはそれに代わる行動目標を制定する考えは。

町長 新たな町民憲章をつくる考えはない。ただ、社会状況によって柔軟に政策を変化させ

問 クレドカード導入を推進し、更なる住民サービス向上、職員の就業意欲の向



丸山 まる
勝利 かつとし

一般質問

問 電気自動車デマンドタクシーが利用者にとって不便である

答 納入メーカーと協議し、改善していった。



▲使いやすさなど、今後の改善が望まれる

平成24年7月より町民の足として、また交通弱者の足の確保として「さくらつきー号」が運行され、町民の身近な足として大変重宝されているが、毎年2千万円以上の税金を投じて運行している「さくらつきー号」が町民にとって使いづらい、使い勝手の悪いものでは税金の無駄遣いと言われてしまう。

町長 毎月報告書で確認している。また電話などによる連絡体制をとっている。

問 運営費について赤字分を100%補てんしているが赤字分を全額負担では民

問 事業を商工会に委託しているが運営や運航の状況確認をどのように行っているか。

町長 乗り降りの際に使いづらいとの話があるので、購入した会社と現在調整中である。

問 電気自動車乗りづらいという意見があるがどう考えているか。

町長 登録のみで使わない方や、使われなくなった方もいると思われる。

問 登録者が増えているのに利用者が減っているのはなぜか。

問 今後町長公約の町内循環型バスの運行計画はあるのか。

町長 費用対効果を考えながら検討していく。

問 現在町内のタクシー会社2社に再委託して運行しているが、今後委託先について検討する考えはあるのか。

町長 町が事業者になり、町内のタクシー会社にお願している。この事業の目的は収益ではないので、赤字分100%補てんは当然と考える。

問 空手道部の新設を

答 中体連に出場しない場合の部活のあり方等を研究する



須藤 しん
慎 しょう

一般質問

問 県内では仙台市立愛宕中学校に空手部が存在して

問 保護者等から大河原中学校へ空手部を新設してほしいという声があるがその声に応えるべき。

教育長 中体連の組織の中に空手道が存在しないことから新設は難しいが、中体連に出場しない場合の部活のあり方等について研究していきたい。

問 26年度スポーツ少年団の小学生登録の種目別人数は。

種目	人数
空手	51名
ミニバス	48名
野球	46名
サッカー	40名
剣道	14名
水泳	9名
柔道	6名
バドミントン	5名

町長 前に進められるよう

問 日本中体連に加盟すれば部活新設が可能か。

教育長 可能である。

問 是非子どもたちの夢を叶えていただきたいし、夢を潰さないでいただきたい。

教育長 空手をやっている子どもたちを生かす道はないのかどうか模索していく必要はあると考えている。

問 日本中体連に加盟すれば部活新設が可能か。

教育長 可能である。

問 是非子どもたちの夢を叶えていただきたいし、夢を潰さないでいただきたい。

町長 前に進められるよう

問 また、年末一括申請ではなく、随時申請ができる

町長 子どもに夢のある町、子育てしやすい町という観点からもう少し真剣に検討していきたい。

問 全国スポーツ大会出場者援助金の高校生以下を一律一万円に引き上げるべき。

問 早急に総合型地域スポーツクラブを設立すべき。

教育長 できるだけ早くという認識で考えている。

問 今回仙台大学と大河原小学校が職員能力向上のために連携校となったが今後、体力・運動能力向上についても積極的に仙台大学と連携すべきと考えるがどうか。



▲県大会団体準優勝(8月香川県で行われる全国大会に出場)

生涯学習課長 今後検討させていただきたい。

問 東北大会、全国大会出場時は、交通費だけでなく宿泊費等も町で支出するべき。

教育長 財政当局と相談しながら進んでいきたい。

《平成27年第1回定例会(5月)、平成27年第2回定例会(6月)議案等審議結果》

件名	議決月日	議決結果	議員別表決結果一覧														
			佐久間克明	須藤 慎	大沼 忠弘	高橋 芳男	岡崎 隆	丸山 勝利	堀江 一男	枅 和也	佐藤 貴久	庄司 充	万波 孝子	佐藤 巖	安藤 征夫	山崎 剛	秋山 昇
議長の辞職	5/1	不許可	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	退	投	投	議	除
常任委員の選任	5/1	選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議長の常任委員辞任	5/1	許可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議会運営委員の選任	5/1	選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議会広報編集特別委員の選任	5/1	選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
固定資産評価員の選任	5/1	同意	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	議
人権擁護委員委員候補者の推薦につき意見を求めること	6/17	適任	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	議
大河原町介護保険条例の一部改正	6/17	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成27年度大河原町一般会計補正予算(第2号)修正案	6/17	否決	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	議
平成27年度大河原町一般会計補正予算(第2号)原案	6/17	可決	×	○	×	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	議
平成27年度大河原町介護保険特別会計補正予算(第2号)	6/17	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
工事請負契約の締結(大河原町立金ヶ瀬中学校屋内運動場改築外工事)	6/17	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
大河原町議会会議規則の一部改正	6/17	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
安全保障関連法案の徹底審議を求める意見書案	6/17	否決	×	○	×	×	○	×	○	○	×	○	○	×	×	×	議

《表決の区分》 投：投票 ○：賛成 ×：反対 退：退席 除：除斥 欠：欠席 議：議長なので表決に加わらず

議決責任の明確化

政務活動費はこのように使われました。

政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、議員1人当たり月額5,000円を会派に交付しています。

平成26年度政務活動費支出状況 [単位:円]

会 派 名	議 員 名	支出総額	収 入 内 訳		返 還 額
			町からの交付額	会派負担額	
新 政 会	堀江 一男 枅 和也 須藤 慎	183,862	180,000	3,862	0
清 清 会	佐藤 貴久 山崎 剛	121,030	120,000	1,030	0
青 葉 会	安藤 征夫 秋山 昇	121,030	120,000	1,030	0
政 道 会	丸山 勝利 佐久間克明	121,030	120,000	1,030	0
緑 の 会	岡崎 隆 庄司 充 佐藤 巖	183,862	180,000	3,862	0
日本共産党	万波 孝子	61,590	60,000	1,590	0
公 明 会	高橋 芳男	60,515	60,000	515	0
一 心 会	大沼 忠弘	60,515	60,000	515	0
合 計		913,434	900,000	13,434	0

- 《政務調査費支出の内訳》
調査研究費(視察研修費用)/資料購入費(図書等購入費用)/広報広聴費(新聞等の発行費用)
- 《調査視察研修の主な内容》
新政会/緑の会→北海道石狩市・江別市「超電導システム」「子ども読書推進計画」
清清会/青葉会/政道会/公明会/一心会
→富山県氷見市・石川県金沢市「氷見市新庁舎」「子どもの安全を守る取り組み」

問 農業機械購入時に町から補助金を

答 そのような考えは持っていない

農業の集約化が勧められている。現状の大河原町の農地面積だけで見れば大規模農家3軒程度で十分運営



▲購入補助により現状維持を

農業問題については現状維持するための政策があつてもしかるべきと考える。

できると思われるが集約化への条件や、近所付き合い等の観点から容易に集約化が進むとは考えにくい。近隣町村においても、農業機械購入時に町から補助金を出している所がある。政策とは、実施することで何らかの成果を上げることが前提であることは承知しているが、

一般質問



さくま かつあき 佐久間克明

問 農家からの補助申請はどの程度問い合わせがあるのか。また、補助に至ったケースはあるのか。

町長 問い合わせ件数は記録していない。相談の後、国庫や県費の補助申請を行う町も上乗せ補助をしたというケースはあつたようだ。

問 兼業農家においても補助するとすれば、どのような条件が付くと考えるか。

町長 担い手への集約化を推進している所であり、農家個人が購入する農業機械に補助を出すという考えは持っていない。

多様な職員採用を

があり相当の歪な形となっている状況。

役場職員の定数削減が求められ、これに伴い職員に求められる業務内容が多様化し増えると考ええる。また、職員の年代バランスに均衡性があるかも不安である。努力している職員にプラス社会経験を積んだ方が採用される枠ができることにより、より柔軟に業務対応できると考える。

問 職員の年代別のバランスは取れているか。

町長 各年齢層にバラツキ

問 昨年氷見市役所に視察で訪れた際、中途採用職員の紹介があつた。大河原町においても特に技能職において30歳以上の専門的、社会経験を積んだ人材採用を考える余地はないか。

町長 統一試験をはじめ社会人枠の採用試験も検討する。

その後どうなったあの提言

議員が行う提言は、町政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の経過について追跡レポートを実施してみました。

委員会調査 町への提言

総務文教常任委員会
地域型保育事業（小規模保育事業）
モンテッソーリこどもの家
家ぽこぼこは、平成27年4月1日に認定を受けた施設である。定員15名で0歳児3名、1歳児6名、2歳児6名の小規模保育事業所A型の施設である。職員数は7名で常勤保育士3名、非常勤保育補助者1名、有資格者の状況は、保育士3名、幼稚園教諭2名、保育補助1名である。開所時間は平日・土曜日7時15分～20時となっている。給食は自園調理、利用料金は町認定の利用料と新学期用品や延長保育に係るおやつ代等は実費となっており差額分を町が負担している。園庭は、目の前の公園を代替地申請している。

従事者をはじめ基準を満たしているが、町が施設確認を行うこととなっている為特に給食で安全面、衛生面で関わり合いを増やす必要がある。

みやぎ県南中核病院院内保育所の現状と課題
みやぎ県南中核病院院内

保育所のオガレ保育園について設置管理者は、みやぎ県南中核病院企業団でアートチャイルドケア㈱に委託している。一時保育は平日・土曜日7時30分から19時30分（延長含む）までで保育メニューには24時間保育、病後保育などがある。保育児童数の増加（平成27年度219名）に伴い増築工事を予定している。全ての環境が整っていた。保育料については、民間保育園との格差が大きすぎると感じた。増築工事の建設負担金の発生を考えれば保育料を今後考慮してもよい。

産業建設常任委員会
保料5号線道路改修事業
西原集会所の移設計画に伴い延長60m・幅員6mの計画になっている。計画幅員と現況の踏切の幅との差が生じ狭くなることから、幅員減少の標識を設置し、注意喚起を図ることは当然であるが、その他の道路標示・標識を併せて設置し一層安全確保に努めること。

保料公園フェンス設置工事
児童がボール遊びをする際、隣接する個人宅のフェンスを損傷している状況で現在も大分損傷が認められる。これ以上の損傷を避けるため全長42m、高さ2.5mのメッシュパネルを設置するものである。隣接家屋家主さんに十分な配慮をもつて町として対応すべきである。

H27年桜まつりの状況・実績・課題
ここ10年で最も早い開花となり、祭り開始時には5分咲の状態だったことや、悪天候が多かったことが来場者に影響した。約24万人の来場で昨年より減少した。

が、唯一晴れた4月12日の日曜日は5万2500人と1日の来場者数として初めて5万人を超え、過去最高となった。交通アクセスについて目立った混雑は4月12日だけであった。雨の影響で大中グラウンドは駐車場として使用しなかったが、渋滞緩和を優先するため、今後は使用する方向で学校と協議すべきである。公共交通での来場呼びかけの効果もあり、JR利用者は増加している。

今後の検討課題は、雨のぬかるみ対策、外国人観光客への対応、ゴミの捨て場所等。また殆どが老木であり、保護の観点から樹木医の診断・処置が必要である。

▲損傷の激しい保料公園フェンス

オリジナルの健康運動を



▲埼玉県ときがわ町の「TOKIGAWAスモールチェンジストレッチ」

提言

埼玉県ときがわ町の健康増進スモールチェンジ事業で「TOKIGAWA体操」を行っている。大河原町も同様にオリジナル音楽を付けて町民学園において実施すれば、世代間交流にも繋がるのではないかな。

平成26年
12月

平成27年

解決

追跡結果

生涯学習課主導にて「さくらっき一体操」を作成している。まずは今年10月開催の「町民健康まつり」にてお披露目し、未就学児などを対象に町民に浸透するようPRしていく。

町道の除雪・融雪対策が不十分



▲平成26年2月の大雪

提言

町道除雪対象路線176路線延長90kmの除雪の予算取りをすべき。町民生活の基盤である道路の除融雪は住民サービスの1丁目1番地。

平成22年
3月

平成27年

未解決

追跡結果

近年の温暖化による気象の極端化により一昨年は立て続けに豪雪に見舞われたが、今年度も予算化は見送られた。

こんな町に住みたいな



金ヶ瀬中学校
平間 賢斗



金ヶ瀬中学校
古山 舞衣

僕が住みたい町は『安全できれいな町』です。そのためには、町内・地域の方々一人一人が声をかけ合い『絆』を作ることが大切だと思います。ゴミを捨てないのはもちろん、落ちていたら拾うようにしたり、誰とでも挨拶を交わすようにすることから僕は始めたいと思います。また、地域の行事などに積極的に参加したりすることで、みんなが顔見知りになり、絆が生まれると思います。

きれいで安全な町に住めば、心が明るくなり、自分の住む町を大切にする気持ちや感謝する気持ちの絆が生まれると思います。

『地域の方々と支え合って暮らせる町』が私の住みたい町です。家の近所の方々、私が小さい頃から、会うと必ず声を掛けてくれたり、野菜を分けてくれたり、優しい人ばかりです。誰かが具合が悪くなるとみんなの手伝いなど、昔からの『隣組』のよさが生きています。しかし、最近はそういう関係を避ける若い家族も多いと聞きます。私は、皆が支え合い団結力のある町のよさをもっと感じてもらえるよう、防災や防犯に関係する行事やみんなで楽しめる音楽などのイベントを企画してはどうかと考えています。

9月議会のお知らせ 議会を傍聴しませんか
招集日 9月4日(金)・再開日 9月10日(木)
 詳細は議会事務局まで ☎53-2800

街かど ワンショット

10号堤防
 青木掘りに架かる橋本橋からの10号堤防。中学生時代、部活や体育の授業で走った方も多いと思います。運動部の部活では、距離は合っていたのか分かりませんが2キロコースなどと称して走らせられた記憶があります。今は小学校で分断されていますが、大河原小学校の1号校舎と2号校舎の間辺りをはしっていた用水掘りから1号、2号と数えて10号堤防のようです。



今後二年間の新しい議会広報編集特別委員会のメンバーが決まりました。町民の皆様にはわかりやすい内容、読みやすい紙面、そして全国議会広報コンクールの入賞を目指し、編集委員一丸となつて議会だより編集に務めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

編集後記

任期の折り返しを迎え、広報委員は改選による2名の入れ替わりがあつただけで再々度委員長を務めることとなりました。

さて本議会史上初となる東北・北海道ブロック議会、県町村議会議長会、仙南議長会の会長を拝命するという荣誉に秋山昇議長が浴されました。その重責も大変なものと思いますが、私共も陰ながら支えようと共に、更なる議会だよりの進化を遂げるべく町民目線の紙面づくりを心掛け、全国コンクール入選目指し二年間、力を合わせていきます。(岡崎 隆)

- 編集発行責任者** 議長 秋山 昇
- 議会広報編集特別委員**
- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 岡崎 隆 |
| 副委員長 | 須藤 慎 |
| 委員 | 万波 孝子 |
| 委員 | 柘 和也 |
| 委員 | 丸山 勝利 |
| 委員 | 佐久間 克明 |